

【ドイツ】

7-8 月の市場動向トピックス

- 2021 年 7 月の訪日ドイツ人数は、対 2019 年同月比 88.2%減の 2,200 人であった。
- 2021 年 8 月の訪日ドイツ人数は、対 2019 年同月比 94.2%減の 1,000 人であった。
- COVID-19 の拡大により、日本政府による上陸拒否、14 日間の隔離 PCR 検査受診等、査証の効力停止等の対象となっている。

7-8 月の主なプロモーション活動

- ドイツ市場では、大手旅行会社 DER Touristik と連携して E-learning のコンテンツを制作し、7 月より旅行会社向けに配信を開始した。宿泊施設やアクセス方法等の基本情報に加え、文化、自然、体験、国立公園といったドイツ市場に響くコンテンツを全 5 章に分けて設定。各章にミニクイズを出題する形式となっており、配信は今年度末までを予定しているが 7 月末時点で、既受講者数が約 400 人、受講修了者数が 100 人となっている。



<DER Touristik (Facebook) で E-learning の告知>

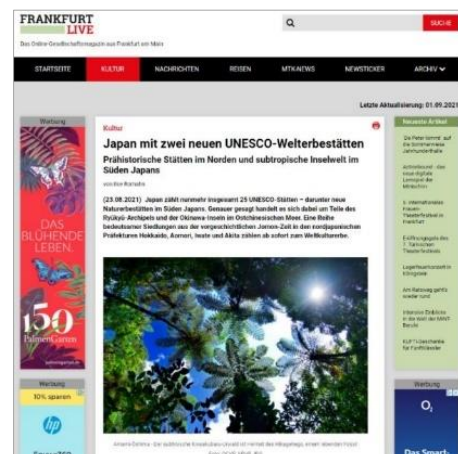


<全 5 章のコンテンツ>

- 7 月に開催されたオリンピックの事前合宿としてボート競技のドイツ代表チームが豊岡市の城崎温泉にて滞在しており、JNTO フランクフルト事務所では、選手の様子に加えて、観光地としての魅力をプレスリリースにて発信し Wochenblatt Reporter.de (リーチ数:約 27 万人) に掲載された。また、世界遺産に登録された「奄美大島・徳之島、沖縄島北部西表島」及び「北海道・北東北の縄文遺跡群」について 8 月にプレスリリースを実施したところ、Genussmänner (リーチ数:約 15 万)や Frankfurt Live (リーチ数:約 41 万人)等に掲載された。



<Wochenblatt Reporter.de>



<Frankfurt Live>